

28年度 学費平均額

学部系統別に初年度納入金の平均額を算出！

旺文社 教育情報センター 平成 28 年 9 月 1 日

大学受験に際し、気になるのが大学進学にかかる費用。しかし、各大学の学費を見ても、それが高いのか低いのかわかりづらい。そこで、だいたいの平均額を理解しておくことが重要になってくる。

実は、一口に大学の学費と言っても、国公立大別でその金額は大きく異なっている。私立大は大学によってさまざま、公立大は同じ大学の中でも地元出身かどうかで別々の金額が設定されていることが多い。

旺文社では進学情報誌『螢雪時代 8 月臨時増刊』（7 月 14 日発売）において全国の大学を対象に調査を行い、本年度（28 年度）の学部系統別の初年度納入金平均額を算出した。これらを参考に、早い段階で志望校のおおまかな学費を想定しておこう。

【初年度納入金とは…】

入学金や授業料、施設費、実習費、諸会費等、1 年次に支払う学費全体のこと。

●国立大はどこでもほぼ同額

国立大に関しては、入学金と授業料は文部科学省の決めた標準額の 20%増を限度に、各大学が決定することになっている。

文部科学省令で定める28年度の「標準額」

【昼間部】	入学金	282,000円
	授業料	535,800円
	初年度納入金	817,800円
<small>（入学金と授業料の合計金額）</small>		
【夜間部】	入学金	141,000円
	授業料	267,900円
	初年度納入金	408,900円
<small>（入学金と授業料の合計金額）</small>		

28 年度の国立大は、どの大学・学部も文系・理系を問わず、標準額のとおりを設定している。基本的に必要な学費は入学金と授業料だが、そのほかに学友会費・学会費、学生教育研究災害損害保険料などが任意徴収される。芸術系では、実習費が必要な場合もある。

●公立大は地域内か地域外か、私立大は学部系統で大きく異なる

公立・私立大学部系統別 初年度納入金 平均額(円)

学部系統	公立大 地域内			公立大 地域外			私立大		
	入学金	授業料	初年度納入金	入学金	授業料	初年度納入金	入学金	授業料	初年度納入金
文学部	222,215	534,646	798,176	358,533	534,550	937,841	241,130	758,849	1,288,086
外国語学部	211,941	519,159	771,139	363,356	518,119	924,016	240,455	752,597	1,287,697
人文・教養・人間科学部	210,127	514,869	774,733	353,156	514,032	919,914	240,024	771,911	1,302,717
教育・教員養成系学部	227,290	541,320	808,389	373,933	541,933	960,066	245,466	770,347	1,342,153
法学部	189,731	533,492	776,949	348,033	533,300	936,762	230,499	731,790	1,218,068
経済・経営・商学部	211,768	540,265	812,024	361,944	540,544	964,719	231,720	738,492	1,240,366
社会・社会福祉学部	213,870	537,673	800,509	352,168	537,794	941,603	241,409	763,550	1,301,196
国際関係学部	219,920	541,872	817,038	373,250	542,125	973,964	232,604	781,071	1,298,042
理学部	228,855	535,418	801,947	376,276	535,400	952,335	242,164	960,335	1,545,681
工学部	212,885	530,094	791,623	352,158	529,921	932,172	241,854	997,754	1,588,247
農・獣医畜産・水産学部	241,836	535,800	812,049	382,218	535,800	952,431	251,475	904,016	1,591,773
医学部	250,625	540,450	921,599	549,857	541,114	1,218,713	1,273,333	2,749,167	7,455,537
歯学部	282,000	535,800	817,800	520,000	535,800	1,055,800	600,000	3,148,824	5,330,706
薬学部	233,800	535,800	871,510	407,720	535,800	1,045,430	329,859	1,393,411	2,153,655
看護・医療・栄養学部	227,618	536,446	820,539	385,689	536,489	980,470	272,513	966,124	1,694,388
家政・生活科学部	224,667	539,857	823,972	396,114	539,857	995,420	249,073	782,444	1,375,517
体育・健康科学部	225,125	557,100	821,390	372,700	557,100	968,965	245,178	806,311	1,391,877
芸術学部	228,143	535,086	813,125	390,747	535,011	980,907	246,315	981,948	1,610,143

※夜間を含む。

※公立大で地域内・外の区分がないところは地域内を含む。

※入学金と授業料は内訳として表示。そのほか実習費等を合計したものが初年度納入金となる。

※大学によって別途徴収する後援会費等は含まれていない。

公立大は、授業料に関しては、大半が国立大と同じに設定している。入学金は大学ごとに幅広く、地元出身者には低く設定しているところが多い。上の表の「地域内」が地元出身者を対象にした金額、「地域外」がそれ以外を表しているが、同学部系統での地域内・外の差は14万～17.5万円程度あり、医学部・歯学部系統のみ、差が大きくなっている。

一方、私立大では、大学・学部などによってさまざま。特に、学部系統によって大きく異なっており、初年度納入金平均額がもっとも低い法学部ともっとも高い医学部では、約624万円もの差がある。平均額は、高い順に「医→歯→薬→看護・医療・栄養→芸術→理・工・農→体育・家政→文系学部」となっている。学費の高い系統は主に、実験や実習があること、そのための専用の施設が必要であること、また、芸術系統などでは少人数や個別の指導が行われることなどが影響している。



学費を調べる際、つい授業料など、ひとつの項目だけで高い／低い、を判断しがちだ。しかし、実は授業料に含まれない他の必要経費があり、“学費”と思っていたものが実際に必要な金額とは大きく異なっていることもある。一項目で判断するのではなく、初年度納入金全体をしっかりと確認することが重要だ。

なお、これまで述べてきたことはあくまで学費の平均額についてであり、個々の大学の実際の学費については、『螢雪時代 8月臨時増刊』をご参照いただきたい。